

# 新任講師からの抱負 -学校教育概論から学ぶ「教育の目的」-

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 明治大学司書・司書教諭課程 公開日: 2021-03-30 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 富永, 香羊子 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10291/21588">http://hdl.handle.net/10291/21588</a>



## 学校教育概論から学ぶ「教育の目的」

明治大学兼任講師  
富永香羊子

学校教育概論は、明治大学において今年度から開設された新しい科目です。私自身も、明治大学での授業は初めてでしたので、どのような学生が履修してくれるのか、とても楽しみであると同時に、不安でもありました。

概論という授業は、物事を俯瞰し、全体的に広く網羅する授業であり、抽象的な内容が多く含まれます。従って、学生には、身近な課題とは言い難く、理解しにくいと思われる科目です。当初は、対面での集中授業を想定しておりましたが、世界中で猛威を振るう新型コロナウイルスの出現により、非対面での授業開始となりました。授業開始前から「初めて開設された科目」、「抽象的な内容」、「非対面の授業」と、3つの課題に直面し、どのような授業展開にするべきかととても悩みました。三日間で全ての授業を行うため、学生の学習環境を考慮し、一日2時間のオンデマンド配信と、3時間のリアルタイムオンラインという授業形態としました。

授業初日、リアルタイムオンライン授業に、学生が全員入ってこられるのか、回線は落ちないかなど、授業以外の心配が頭をよぎりましたが、教職員の皆様にお力添えいただき、無事に授業が始まりました。複数の学部から集まった学生は、司書志望・教員志望など、様々な夢を持っていました。そこで、学校教育概論を通して、どのような職業に進んでも、この授業で学んだことが生かされるように、常に「その時、自分だったらどう対応するか」という視点で、授業を進めました。

教育の目的は、教育基本法に示された「人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなけ

ればならない」です。この考え方は、全ての学習場面に通じるとともに、生涯学習へ繋がるものです。

学校教育では、多様な子供たちに対して、個に応じた対応が求められています。GIGAスクール構想の推進により、Society5.0時代を生きるためには「多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、一人一人に公正に個別最適化され、資質・能力を一層確実に育成できる教育ICT環境の実現」<sup>注1</sup>が掲げられています。これは、担任一人で達成できるものではありません。これからの学校司書は、チーム学校の一員として、学校図書館を通して、子供たちの様々な課題に対応していくことが重要です。そのためには、法令を学び「なぜ、そうなるのか」という根拠をしっかりと理解することが大切です。学校司書は、これらを理解した上で子供たちに接することで、チーム学校の一員として、学校教育に寄与することができると思います。

また、学校図書館は、読書・学習・情報センターとしての機能を果たすだけでなく、子供たちにとっての安全な居場所となり得ます。学校司書は、「教員ではない=成績評価者ではない」ことが強みです。子供たちを成績の観点から見るとは、利用者として見ることで、誰もが利用しやすい居場所となります。学校の当たり前で捉われることなく、学校図書館法に定める「学校図書館の利用の一層の促進に資する」について、様々なアイデアを生かして、子供たちの生涯学習に繋がる「学校図書館運営」を目指して欲しいと思います。

注1：文部科学省. GIGAスクール構想の実現へ.  
[https://www.mext.go.jp/content/20200625-mxt\\_syoto01-000003278\\_1.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20200625-mxt_syoto01-000003278_1.pdf) (最終アクセス日 2020.12.24).